

報道関係者各位

2019年1月21日

大東建託、平成30年度「スポーツエールカンパニー」に認定 ウォーキングラリーやスポーツ大会開催、毎朝のラジオ体操が評価される

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)と大東建託パートナーズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:佐藤功次)は、2018年12月20日、ウォーキングラリーやスポーツ大会の開催、毎朝のラジオ体操実施などが評価され、スポーツ庁より平成30年度「スポーツエールカンパニー」として認定されました。

当社グループは、2018年5月に「大東建託グループ健康宣言」を制定し、従業員の健康管理を経営的視点から戦略的に実践する「健康経営」を推進しています。今後も、社員がスポーツに親しめる環境づくりを推進し、20代~40代の「働き盛り世代」をはじめとした社員全体のスポーツ実施率の向上を図っていきます。

なお、これに先立ち、2018年11月30日、東京都より平成30年度「東京都スポーツ推進企業」としても認定されています。

■「スポーツエールカンパニー」の概要

運動不足である「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的に、平成29年にスポーツ庁が創設した制度です。

社員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取組を実施している企業を「スポーツエールカンパニー」として認定し、その企業の取組を広く周知することで、他企業への横展開を促しビジネスパーソンのスポーツ実施率の向上を目指しています。また、従業員の健康管理について戦略的に取り組んでいる企業の社会的評価の向上を図っています。

本制度は、東京都が実施する「東京都スポーツ推進企業」認定制度と連動して実施されています。



■ウォーキングラリーやスポーツ大会、ラジオ体操を実施

社員の健康増進に向けて、運動に親しむ様々なきっかけづくりを進めています。

【ウォーキングラリー】

日々の生活にウォーキングを取り入れ、適度に体を動かすことで運動を習慣化させることを目的に、健康保険組合と連携し「60日間で48万歩以上歩く」ことなどを目標としたウォーキングラリーを実施しています。参加率は年々上昇し、2018年度は40%以上の社員が参加しました。毎年実施している定期健康診断結果においても、運動習慣を持つ人の割合が年々上昇しています。

【スポーツ大会】

毎年春に、全国の各拠点でスポーツ大会を実施する他、秋の社員旅行でもゴルフ大会やテニス大会、カーリング体験などを企画し、社員に運動機会を提供しています。また、コミュニケーション促進イベントとして、建設現場ノーワークデーに有志による野球大会を実施するなどしています。

【全社一斉ラジオ体操】

創業時より、毎朝全社員でラジオ体操をしてから業務を開始しています。大東建託パートナーズ本社の朝のラジオ体操の様子



首都圏エリアの工事部有志により、2018年12月に開催された野球大会「大東首都圏カップ」



< 本件に関するお問い合わせ >

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174